

清潔が続き、衣類の出し入れも簡単に！

理想のクローゼットを 叶えるタイパ術



目次

忙しい毎日の中、お手入れが後回しになりがちなのがクローゼット。けれど、現代の生活では、衣類についた花粉やウイルス、害虫など…気になることも増えています。

もっと整理したい！清潔にしたい！理想のクローゼットはあるけれど、なかなか実現できていない人が多いのでは？

このガイドブックでは、手間をかけずに暮らしを楽にできるクローゼットのタイパ術を紹介します。

P.02 理想のクローゼットとタイパ意識に関する調査

P.04 タイパ視点での理想のクローゼット

P.05 クローゼットのNG習慣チェックリスト

P.06 タイパが上がるクローゼット実践術



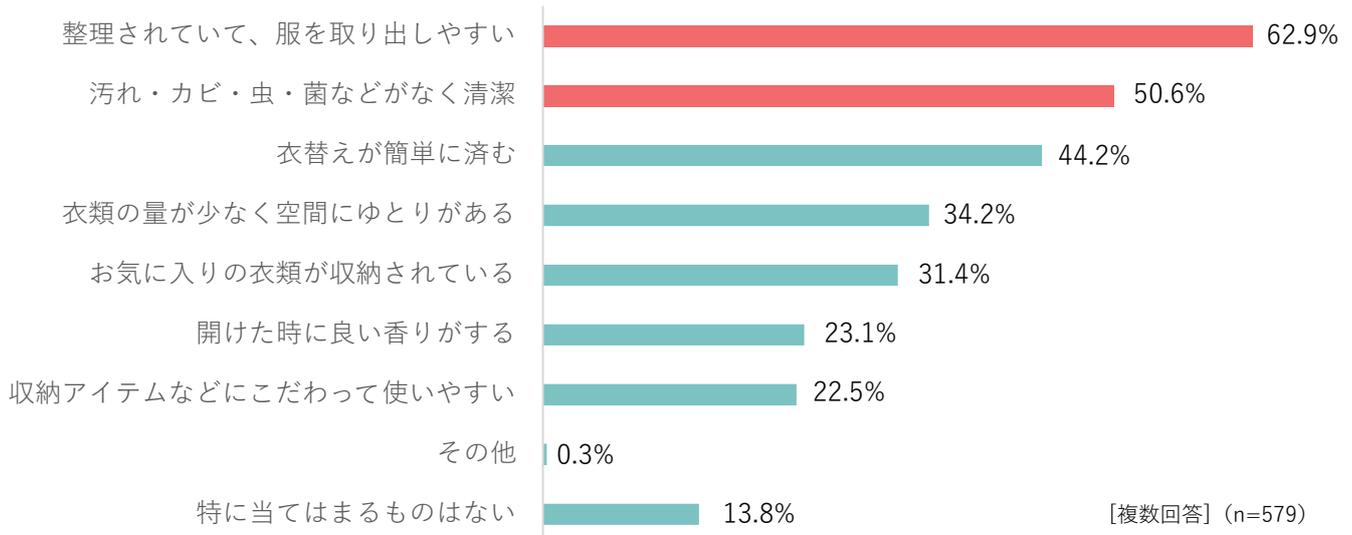
[監修] 藤原千秋さん

ライター・住生活ジャーナリスト。

「家のなか」の事をテーマにウェブ、雑誌、新聞等で執筆。大手住宅メーカー営業職を経て2001年よりAllAboutガイド。最新の監修書に『家事ずかん750』（朝日新聞出版）。

「服を取り出しやすい」と「清潔」が理想 約6割は理想を叶えられず

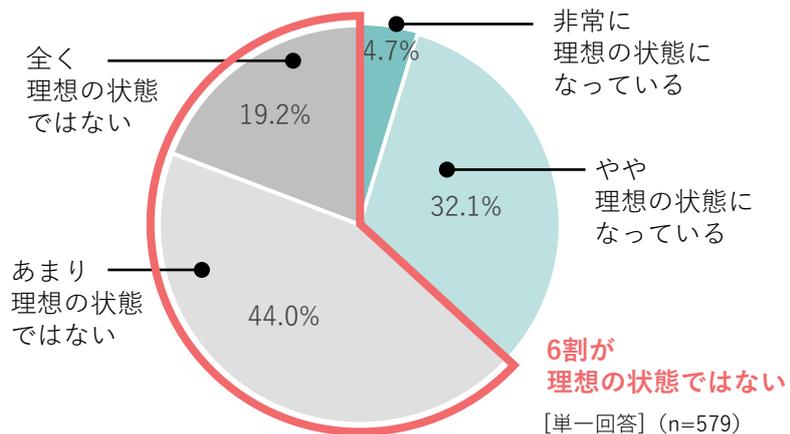
自分にとって理想のクローゼット（ウォークインクローゼット含む）はどのような状態ですか？



理想のクローゼットTOP2は「整理されていて服を取り出しやすい」「汚れ・カビ・虫・菌などがなく清潔」

エステはクローゼットの管理を含む家事を普段から行っている全国の既婚男女579人に、調査を実施。理想のクローゼットについて聞いた質問では「整理されていて、服を取り出しやすいクローゼット」が60%を越えて1位に。次に、「汚れ・カビ・虫・菌などがなく清潔なクローゼット」が約50%で続きました。自由回答では、「花粉や嫌なにおいのとれるクローゼット」「無限に服が収納できる」「衣替えを自動でしてくれる」「勝手に整理整頓してくれる」など、衣類のケアができること、クローゼットとしての清潔感があること、使い勝手がよいことなど様々な観点での声が挙がりました。

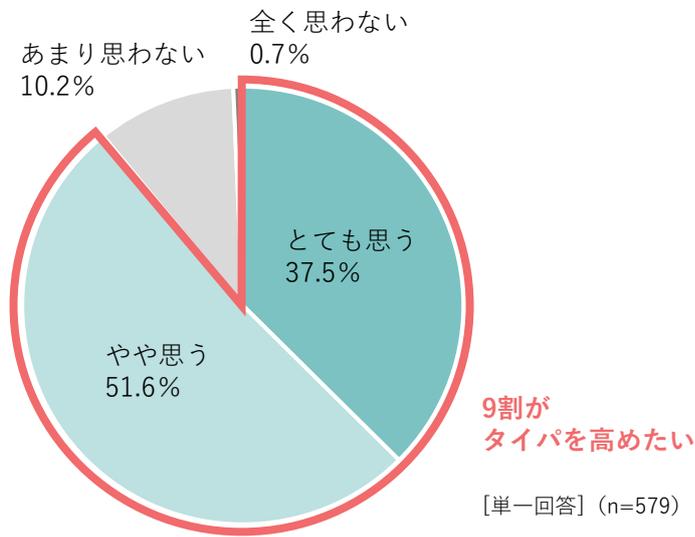
現在使用しているクローゼットは理想の状態になっていますか？



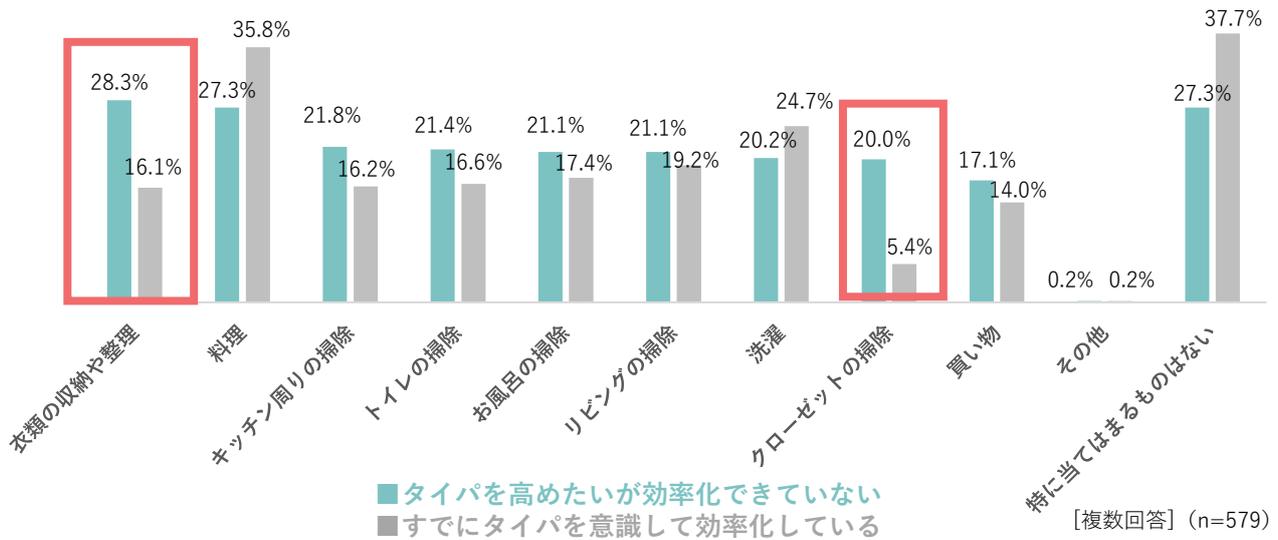
約6割が理想のクローゼットでないと回答

一方、クローゼットが「非常に理想の状態になっている」「やや理想の状態になっている」と答えた人は36.8%となり、約6割は理想のクローゼットを実現できていないことが分かりました。クローゼットの効率的な管理に対する課題が、調査から裏付けられました。

普段の生活において
家事を効率よくこなして、
タイパを高めたいと
思いますか？



タイパを高めたいが、全く効率化できていない家事はありますか？
すでにタイパを意識して、効率化している家事はありますか？



※エステー「理想のクローゼットとタイパ意識に関する調査」(24年3月)より
※グラフの構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%にならないものもあります。

タイパを高めたいが叶えられていない 家事1位に「衣類の収納や整理」

また、家事に対するタイパ意識を調査したところ、約9割の人が家事においてタイパを高めたいと思うと回答し、タイパへの関心が非常に高まっていることが伺えます。

一方、クローゼットや衣類の管理においてはタイパを追求できていないのが実情のようです。タイパを高めたいが全く効率化できていない家事があるかどうかを聞いたところ、1位は「衣類の収納や整理」(28.3%)、2位は「料理」(27.3%)とほぼ並びました。また、特筆すべき項目が「クローゼットの掃除」で、タイパを高めたいが全く効率化できていないと答えた人(20.0%)は、すでにタイパを

意識して効率化していると答えた人(5.4%)の約3.7倍に上り、全家事の中で理想と実態のギャップが最も大きいことがわかりました。

「衣類の収納や整理」および「クローゼットの掃除」について、全く効率化できていない理由としては、「家事の中で優先順位が低く、後回しになってしまう」が最も多く、続いて「タイパを高める方法が分からない」と答えた人が多く、他の家事に対して手が回っておらず、ノウハウが不足している状況が見えてきました。

調査結果を受けて、「理想のクローゼットを叶えるには、どうすればよいのか?」「クローゼットのタイパを高めるには何が必要か?」、住生活ジャーナリストの藤原千秋さんに聞きました。

忙しいから手間をかけず 「きれいな状態ですぐに着られる」 クローゼットが理想

掃除しやすく清潔が保てる



服の出し入れがしやすく、
きれいな状態ですぐに着られる



「取り出しにくい」「シワや汚れがある」場合はタイパを見直そう

一見整っているように見えても、「使う時に、着たい服がすぐに取り出せなかったり、しまっている間にシワやシミがついてしまい、ひと手間かけないと着られないのは、タイパが悪いクローゼットになっている可能性があります」と藤原さんは指摘します。クローゼットの本来の役割は、効率よく快適に衣類を使えるようにすること。美しく整理することより出しやすくする管理が大切です。

また、「以前と比べて、便利なアイテムが増えたはずなのに、家事が楽にならないのは、完璧を求めて無理をしているからかも。家族の生活スタイルに合わせて、ゴールを設定することも大事です」（藤原さん）。

手間なく服をきれいな状態で着られるよう、無理なく効率的に管理

それぞれの家族にとって気持ちよく、使いやすいクローゼットを考えるのが藤原さん流です。理想のクローゼットに正解はありませんが、「掃除しやすく清潔が保てる」「服の出し入れがしやすく、服が傷んだり劣化したりせず、お手入れの手間をかけずにすぐに着られる」状態をつくるのが、クローゼットのタイパを高めるポイント。そのためには、服をしまうときの工夫や、服や収納アイテムを出し入れしやすい状態づくり、衣類の見える化、便利な収納アイテムの活用などが大切です。具体的なノウハウはP.06~07で紹介しています。

タイパを下げるクローゼットのNG習慣チェックリスト

□衣類をぎゅうぎゅうに収納している

風通しが悪くなり、虫食いやカビの原因に。シワがついて、着たい時すぐに着られないことも。

□クローゼット内の衣類を把握できていない

持っている服がわからず似たような服を買ってしまったりと、暮らしの効率を下げる要因に。

□下段に蓋つき・キャスターなしの収納ケースを使っている

上に蓋があるとモノを出し入れしづらく、日常使いのアイテムの収納には不向き。キャスターがないと床掃除がしにくい。

□床に衣類を直置きしている

床にはホコリや湿気がたまりやすく、カビの原因になることも。掃除しづらい状態はリスクを高める。

□脱いだ服をすぐにクローゼットにしまっている

湿気・汚れ・ニオイがついた服をクローゼットに持ち込むと、虫食いやカビ、黄ばみのリスクが高まる。



衣類を傷ませるNG習慣に注意

タイパの悪いクローゼットでは、普段掃除もしづらく、収納している間に虫食いやカビ、シミ、シワが発生し、使うときに余計な手間を取られてしまいます。

例えば、脱いだ服をクローゼットにすぐに収納すること。これは衣類の大敵である虫食いやカビ、シミやニオイのリスクを持ち込む行為に。虫食いの原因となる衣類害虫は、屋外で衣類に付いて侵入することもあり、皮脂や食べこぼしは、虫の栄養となり、虫食いのリスクを高めます。また、湿気や汗を含んだ衣類はカビやシミの原因になるので、クローゼットに持ち込むのはNG。

詰め込みすぎはタイパを下げる

衣類がぎゅうぎゅうな状態では、風通しが悪く湿気が溜まりやすくなる上に、衣類が取り出しにくく、シワになってしまいます。詰め込みすぎると、しまっている衣類が把握できない状態に。その結果、着たい服をすぐに取り出せず、無駄な買い物も増やしてしまいます。

最後に、掃除しにくい環境になっていないかもチェックしましょう。ホコリが溜まった状態で放っておくと、衣類害虫が卵を産み付けたり、カビのリスクも。蓋つきでキャスターのない収納ケース、床への衣類の直置きは、衣類やアイテムを出し入れしにくく、掃除もしづらいため、タイパを下げることに。

タイパを重視する人のための 理想のクローゼット実践術4選

しまう前に湿気・汚れ・ニオイをケア



湿気や汚れ、ニオイをクローゼットに持ち込まないことが、衣類の劣化を防ぎ、清潔な理想のクローゼットを叶えるための絶対条件。ホコリや水分、季節によっては花粉など、クローゼットにしまう前に対処することで、きれいな状態で衣類を管理でき、すぐに着ることができます。

着たあと洗わずに収納するコートやジャケットは、すぐにクローゼットへ入れず、外で乾かしてからしましましょう。コートやニットなどは、専用のブラシで軽くブラッシングすると、表面の汚れをさっと落とすことができます。

また、カバンやベルトなどの革製品は、水分を含みやすくニオイの原因にも。しっかり乾燥させた状態で、クローゼットの上の方に収納しましょう。

よく使う衣類はかける収納に



クローゼット内で収納ケースにたたんで収納する場合がありますが、衣類にシワが付いてしまう可能性があります。着るたびにアイロンがけするのは面倒ですし、たたんで下になった衣類は、取り出しづらくなります。稀に衣類をたたんで床に直置きするケースもありますが、カビや虫食いの原因になるので、できれば避けてください。

タイパを考えると、収納にも取り出しにも手間がかからない「かける収納」がおすすめ。特によく使う衣類は、かける収納を心掛けて。収納スペースには限りがあるので、家族にとって適正な衣類の量をキープすることも重要。着なくなった衣類は、リサイクルに出すなど、溜め込まないようにしましょう。

衣類やアイテムの見える化



クローゼットを理想の状態に管理し、タイパのよい生活を送るには、収納するモノを把握できていることが大前提。衣類やバッグがどんなにたくさんあっても、どのアイテムが何点あるか、見える化できていれば、季節外のアイテムの管理も簡単で、衣替えの時もスムーズです。アイテムかぶりを避けたり、不要な衣類をチェックするのも簡単です。藤原さんが「かける収納」(P.06)をすすめるのは、今着られる服を把握しやすいからでもあります。詰め込みすぎず、クローゼットを開けた瞬間に服が一覧できたら快適ですね。マメな方は、衣類を写真に撮って表をつくらしたり、アプリで管理するのも手。天気などに合わせてコーディネートを提案してくれるアプリもあるので、うまく活用すれば、よりタイパが上がりそうです。

タイパアイテムを上手に活用



クローゼットには衣類の繊維が落ちるので、よくホコリがたまります。虫食いやカビのリスクを下げるためにも1ヵ月に1回くらいは掃除したいところ。

だからこそ、タイパに繋がるアイテムを活用しながら、隅々まで掃除がしやすく、清潔をキープできる環境をあらかじめつくっておくのがコツです。できるだけ床置きを減らして、収納ケースなどを置く場合は引き出し式・キャスター付きを活用しましょう。さらに収納ケースは、プラスチック製のものでそろえれば、アルコールでさっと拭くだけで簡単に清潔に。掃除機はノズルの伸びるハンディタイプ、できればサイクロン式がおすすめです。楽な姿勢で隅まで届き、ボタンやアクセサリを吸い込んでしまっても、簡単に取り出せます。

虫食いやカビも防げる防虫剤など、多機能な予防アイテムを活用するのもおすすめです。

まとめ

藤原さんがすすめる4つのテクニックは、手間や時間をかけず、清潔なクローゼットをキープするために、とても有効です。衣類がいつでもキレイな状態にすぐに着ることができれば、余計な洗濯やアイロンがけで、暮らしのタイパを下げずに済みます。さらには、普段からタイパの良いクローゼットを実践していれば、面倒な「衣替え」も楽に時間をかけずに行うことができるのもポイントです。

理想のクローゼットに近づけるには、家族の性格や生活に合わせた工夫が大切。「仕事や子どもの成長でライフスタイルは毎年変わるので、クローゼットと衣類の管理も常にアップデートしている」と藤原さんは言います。

例えばお子さんが小さいうちは、藤原さんが衣類をすべて管理していましたが、大きくなると難しくなります。今は、一人ずつかごを用意して、洗濯物を分けていれるだけ。あとは、本人がかけたり、たたんだり、それぞれに管理を任せています。

理想のクローゼットを叶えるためには、押し付けない、完璧を求め過ぎないのも大切なこと。家族の形に最適な、タイパのよい暮らしを目指しましょう！



“防虫・香り・防カビ”の多機能アイテムで衣類ケア！ クローゼットのタイパを高める新製品 「ムシューダ NOTE クローゼット用」



エステー株式会社は、“清潔感”と“シンプル”がテーマの「ムシューダ NOTE(ノート) クローゼット用」を、2024年2月に発売しました。

“防虫・香り・防カビ”の機能を備えた防虫剤で、清潔感のある理想のクローゼット空間を提案する衣類用防虫剤です。厳選したフレグランスオイルを配合した上質で清潔感のある香りが収納空間に広がり、大切な衣類を約1年間虫から守ります。

香りは、凛としたリリーや上品なローズやミュゲなどのフローラルに包まれた、心まで洗われるようなパウダリーで清潔感のある「ホワイトリリー」と、爽やかな甘さのフローラルに優雅なムスクが重なり合い、香水のような上質で心地よい清潔感のある「サボン」の2種類です。

クローゼットにかけるだけで、気持ちが軽やかになる清潔な香りが広がります。

防カビ剤配合でカビの発育を抑え、衣類をカビからも守ります。また、収納空間にダニを寄せつけにくくします(※)。

どちらも取り替え時期がわかる“おとりかえサイン”付きです。

(※)マダニやイエダニを対象とした効果ではありません。